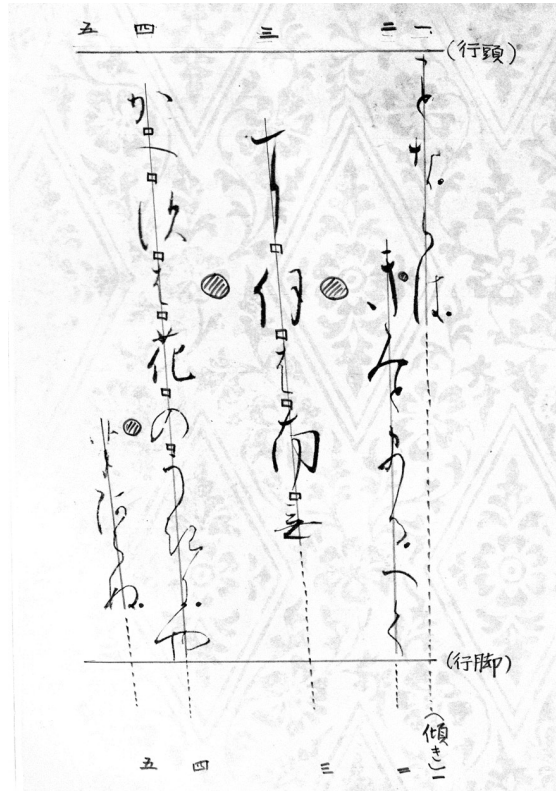


◆半紙たて書きに臨書して下さい。出品料430円

元永本古今集(395)



1、語句⇨ことならば きみとまるへ久 耳保者南無

かへ須者花の う起ルや半阿らぬ

2、形式⇨半紙をたてに使用。落款は左余白に全体の調和を考えた大きさで

「○○臨」と入れる。

3、概観⇨ほぼ一年間にわたってさまざまな角度から課題を持ち、元永本古今集を半紙に臨書してきました。課題とは、①漢字とかなを無理なく調和させること。②側筆と直筆の線質の違いを学ぶこと。③連綿と対称する「放ち書き」を学ぶこと。④かな表現の一要素である「散らし書き」を学ぶこと。でした。今回は最終回としてそれらのまとめをします。

4、学習のポイント

(一)これまでの学習を生かす

①漢字もかなも同じ気持ちで運筆すること。

②側筆：は きみと 耳保 南花

直筆：まるへ久 う起ルや 半阿らぬ

③放ち書き：「耳保者南無」

「かへ須者花のう」

④結びを小さく…(・)なはる 尔ぬ

(二)散らし書きの視点

①行頭・行脚の高さ。一行目を最も高く。低くした二行目を受け、

三・四行目とだんだん高くし、五行目は短く低くする。行脚は一・

四行目をほぼ同じ高さにする。

②行間の変化。(・●●●)を参考にす。

③行の傾き。一行目に対し、二・三・四行目は寄り添うように傾け、

五行目は短いが最も傾ける。遙か下方の延長線で、この五つの行

が一点で束ねられるイメージで書く。

一字書(一月二十二日締切)

課題

盡

(1)書体自由

(2)半紙タテ ※ヨコは中止

(3)落款は余白に調和を工夫し書き入れる

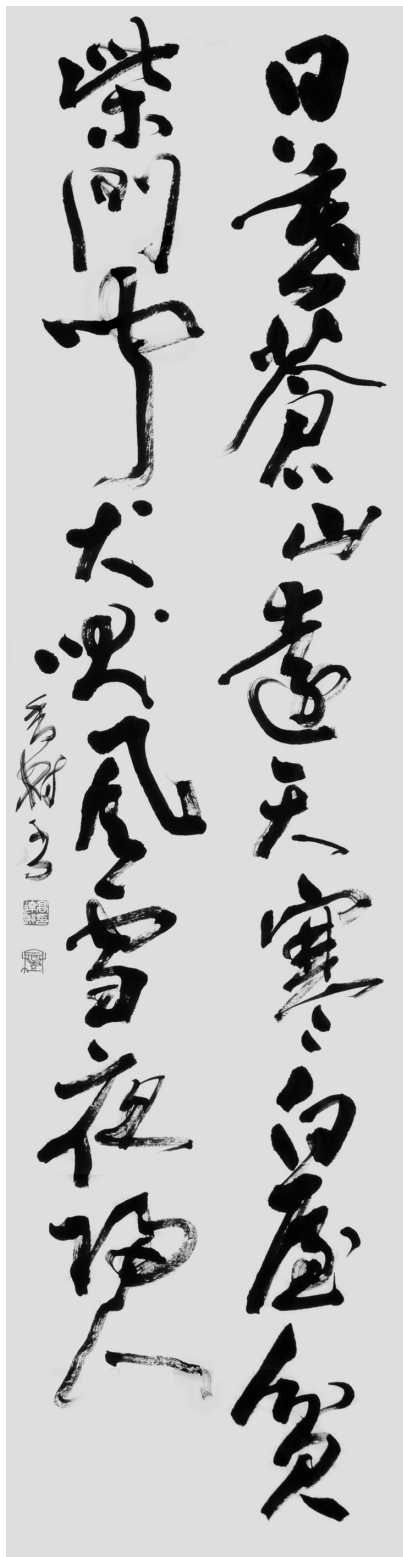
(4)出品料 四三〇円

(5)バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の

空欄に一字と記入 段級は無記入

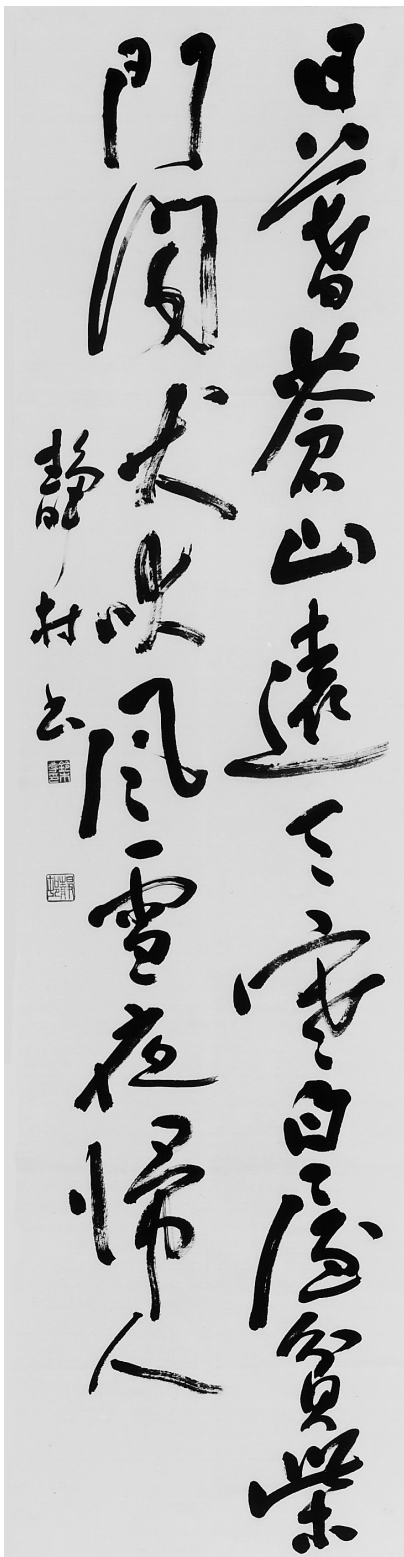
A 高橋香樹会長書

日暮蒼山遠 天寒白屋貧 柴門聞犬吠 風雪夜歸人 (劉長卿)
 ひく 暮れて蒼山遠く、天寒くして白屋貧し。柴門の吠ゆるを聞く、風雪夜歸の人。(劉長卿)



B 鈴木静村先生書

二十字の課題だと文字の大小に意を用いるべきでしょう。一行目は「日山太白」の画数少ない文字を小さく、二行目は「犬吠」を小さく「夜歸人」は横に広げました。一行目は「暮蒼貧」を大きく、二行目は「聞」を縦に伸ばしてみました。行の出入り・行の流れに考慮したい。墨継ぎは小さい文字の「白」と「犬」。



暮蒼 冠に変化を。遠 之繞を伸びやか。天 三では誤字。寒 冠大きく。白屋貧柴 小大小大の布置。門聞 門構えに注意。犬吠 草体で変化。風雪夜歸人 縦線少々の変化を。人は軽く収めたい。墨継ぎは、白と風。最初の日とこの二文字で構成の三角法を打ち出しました。ただ、右行下部の白屋貧柴は字間が詰まり過ぎ、私のクセ。真似しないように。上部の字間のとり方に工夫を。

訳：日が暮れてはるかな山なみはうす暗く、身にしむ寒さに貧しいかやぶきの家に宿る。柴門から犬の鳴き声が聞こえるのは、吹雪の中、夜ふけて帰って来た人があるらしい。

予告 (二月二十二日締切) 松高白鶴眠(李白)

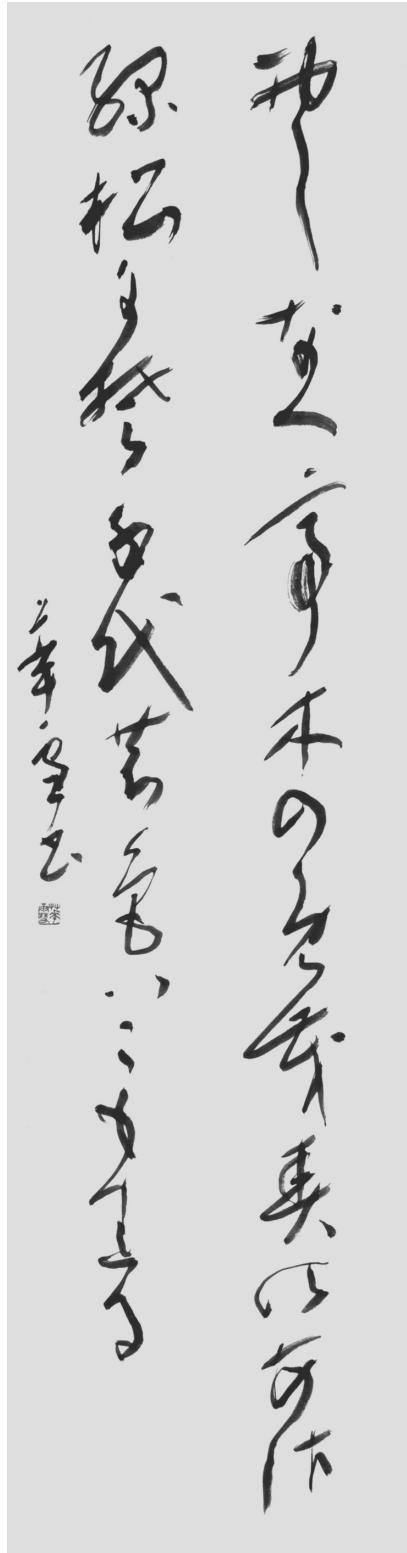
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

おしなべて木の芽も春のあさみどり松にぞ千代の色はこもれる
おしなへ亭木の免茂春能あ佐緑松尔楚千代農色八こも連る

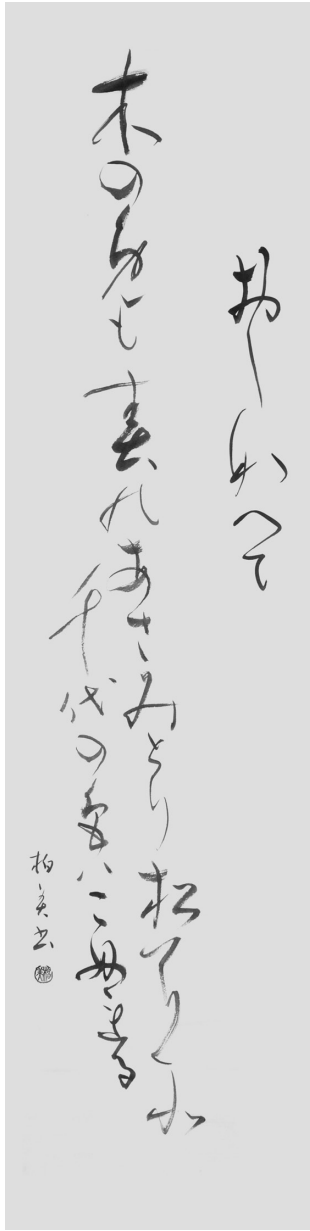
(新古今和歌集 撰政太政大臣)



B

石島柏美先生書

おし那へて木の免も春能あさみどり松にぞ千代の色八こも連る



学び方

松の緑には「千年も続くであろう君が代の色」がこもっているという「賀の歌」を、空間を大きくとらえ、ゆったりと明るくまとめました。そのため一行目は短く、二行目で大きく伸びやかな動きになるよう心がけました。「春」は一画目を横に長目に書き、字幅を広げて、ふくらみをもたせます。「あさみどり」から行を少し右に移しつつ書き進めます。四句目の「松」はゆっくりと、「耳所」は線の動きを意識してリズムカルに緩急をつけて運筆して下さい。三行目の「千代の色八」は渴筆のまま二行目に呼応するように静かに書き添えます。最終句の「こ母連る」で墨を入れ引き締めます。今回、三行の散らし書きとしましたが、墨色や余白で歌の情趣を出せたら作品としてより良くなると思います。

撰政太政大臣は九条兼実の次男で藤原良経のことである。漢詩、和歌にすぐれ、和歌は俊成に師事。「新古今和歌集」の特徴は、典雅優艶・幽寂さにあるが、良経は「新古今風」の歌風の醸成に力を注いだ。「新古今集」には、西行、慈円について三番目に多い七九首の歌を残している。又、「仮名序」の序文を書いている。巻頭歌も良経の歌で始まる。

予告 (二月二十二日締切)

わが庭の竹の林の浅けれど降る雨見れば春は来にけり (若山牧水)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

町田 煌月先生書

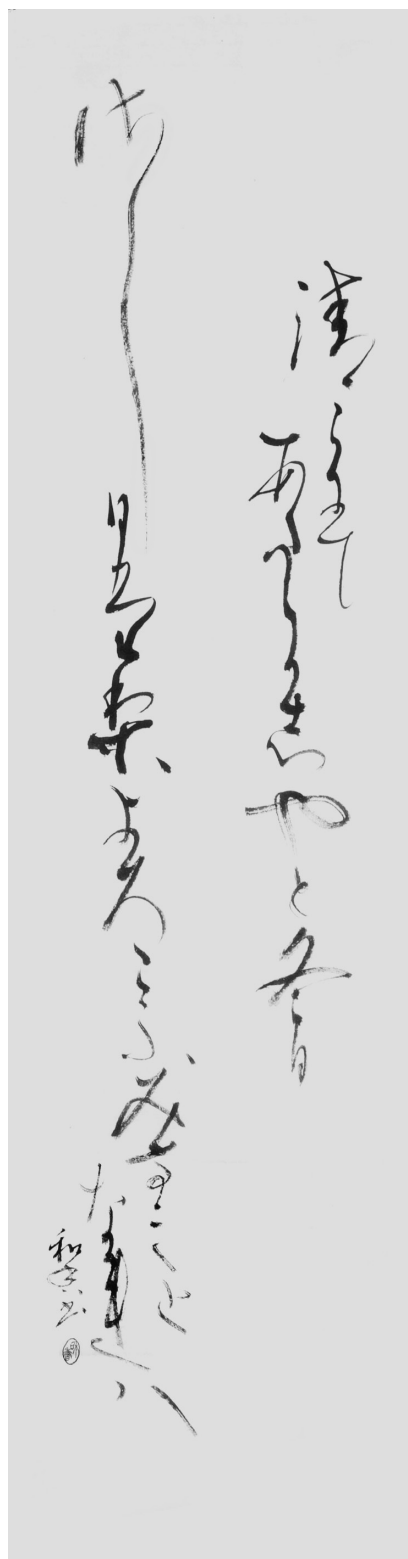
断橋積雪迷人迹。古澗堆水礙馬蹄。(惠椿亭)
 断橋雪積り人迹迷い、古澗水堆く馬蹄を礙ぐ。



訳：曲折してかかる橋には雪が降って人迹は見つけ難く、古い谷には水がうずたかく馬の進む足を妨げる。

小林 和香先生書

清らにて暖しやと冬日ざし浸りよろこぶ南となれば(窪田空穂)
 清らにてあまゝ可志やと冬日佐し日堂梨よろこふみ奈三とな連八

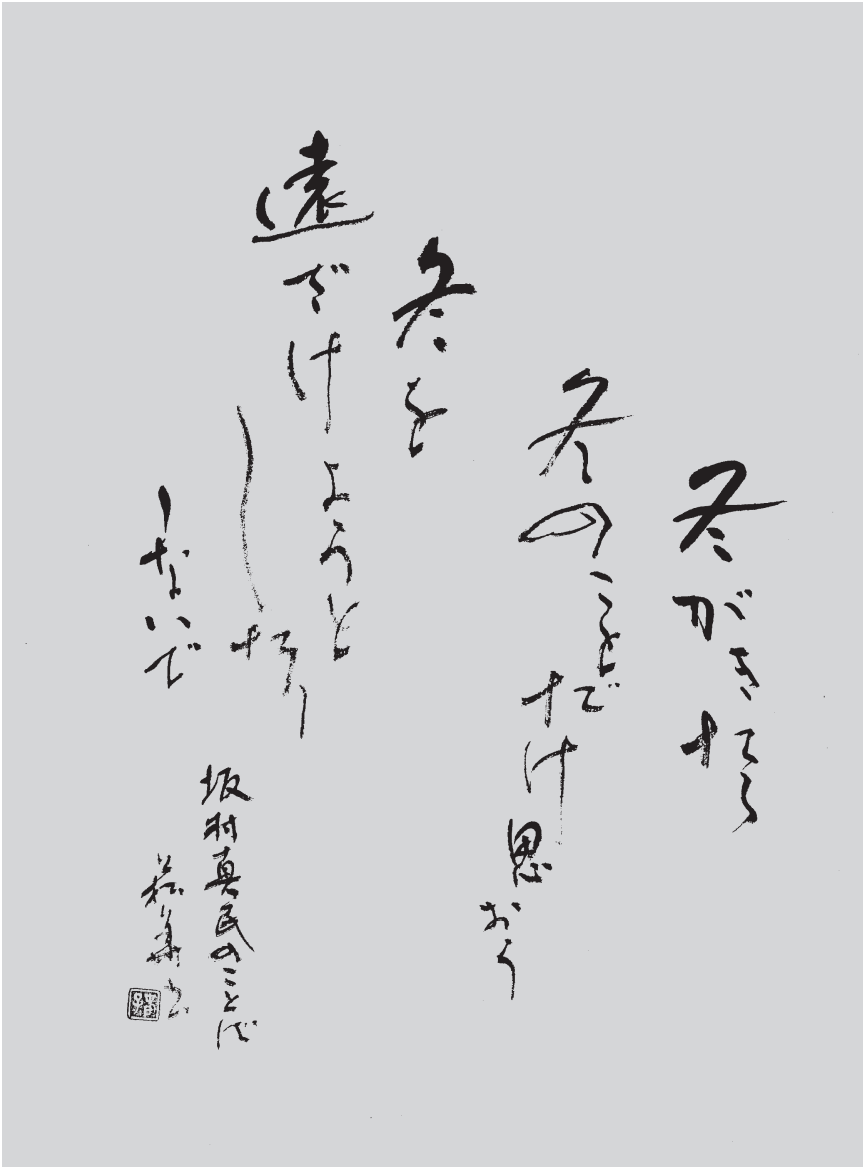


- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

小暮 菘華 先生 書

冬がきたら
冬のことだけ思おう
冬を遠ざけようとしたりしないで
「冬がきたら」抄 坂村真民

この詩の中の「冬」を老境に入った自分自身のことと捉え、共感を覚えて書きました。文章を二つの文字群に分け「冬」字三つを表現を変えて行頭におき、配字に工夫し、次の文字群、「冬」「遠」を強調して、あとは詩の内容に沿うように、サラッと書きました。皆さんもそれぞれ工夫して下さい。



坂村真民（一九〇九～二〇〇六）佛
教詩人、熊本県出身。熊本県立玉名
中学卒。神宮皇學
館卒。一遍上人の
生き方に共感し、
癒しの詩人といわ
れる。毎朝一時に
起床、未明の中祈
りをささげる日課
を続けた。詩はわ
かりやすく財界人
から子供にまで愛
され、詩集「念ず
れば花ひらく」
二度とない人生
だから「めぐり
あいのふしぎ」な
ど多数。
※訂正
十一月号5ページ
作者は吉野弘です。
（宏と書いても、審
査に影響しないよう
配慮します。）

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

- ①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

孤舟暮に帰る (王瑤湘)

訳：夕暮に君を乗せた舟が帰って行った。

〈背勢、向勢、直勢〉
 向かい合った二つの画が(背、)向、
 直に書かれたもの。「舟、暮」に見
 られる。形よりも筆づかいの上で特
 徴を捉え、書き分けると形も安定す
 る。

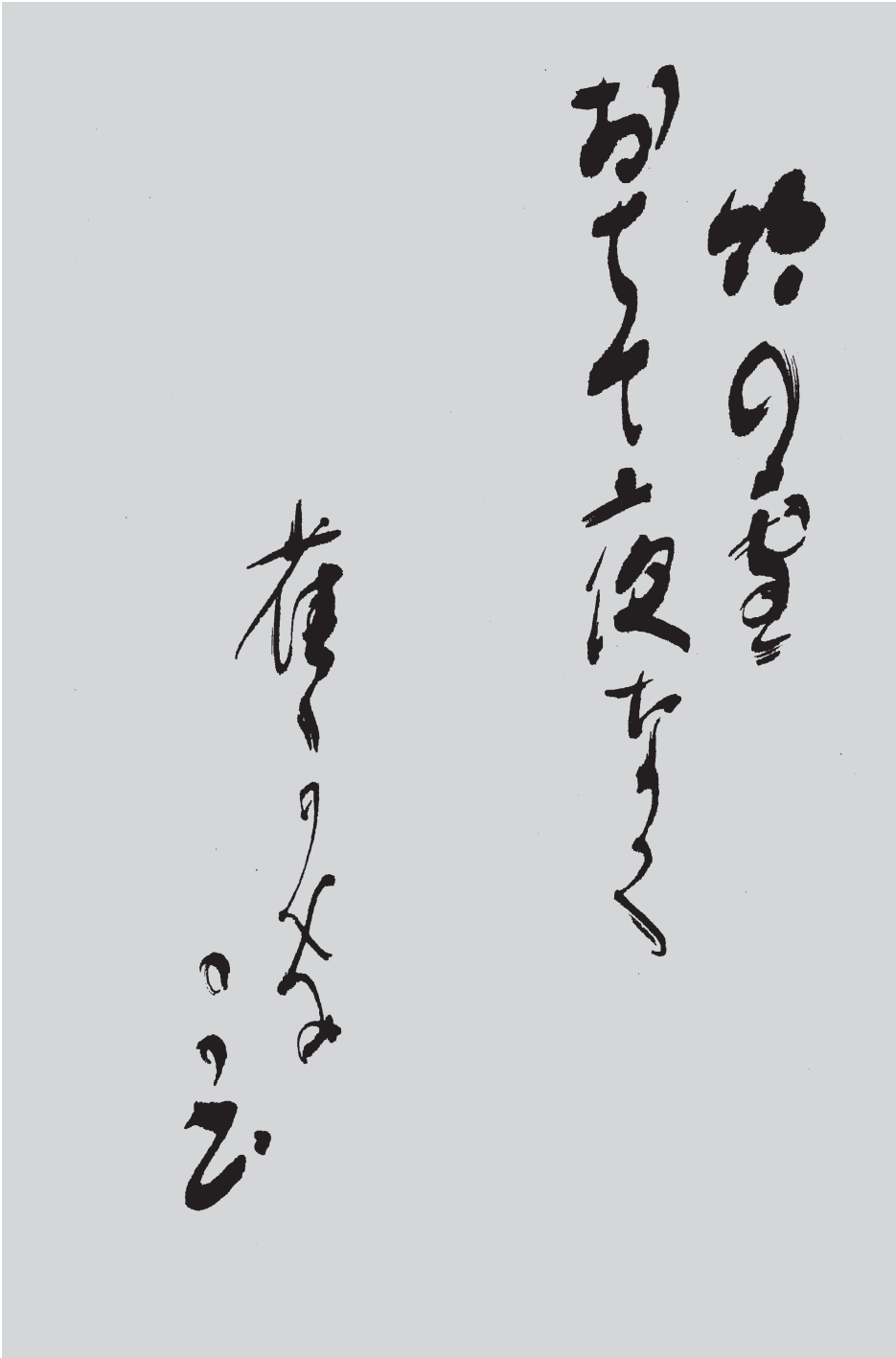



◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

竹の雪おちて夜なく雀かな (塵文)
竹の雪おちて夜なく雀かな



〈基本的課題―基礎力の習熟を―〉
散らし、書調から見て基本的な表出です。特に、初歩の方には適切と思いま
す。大いに書き込んでみて下さい。変体がなの「可」も、基本的用筆で書かれ
ています。「雀」からの一画を大きく弾ませ、「」の画に鋭く入り、さら
に弾んで「奈」に連綿しています。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

梅 林 寺 爽 葉 先 生 書

晚來風稍緊（孟浩然）
晩来風稍かぜはやくきび緊しく

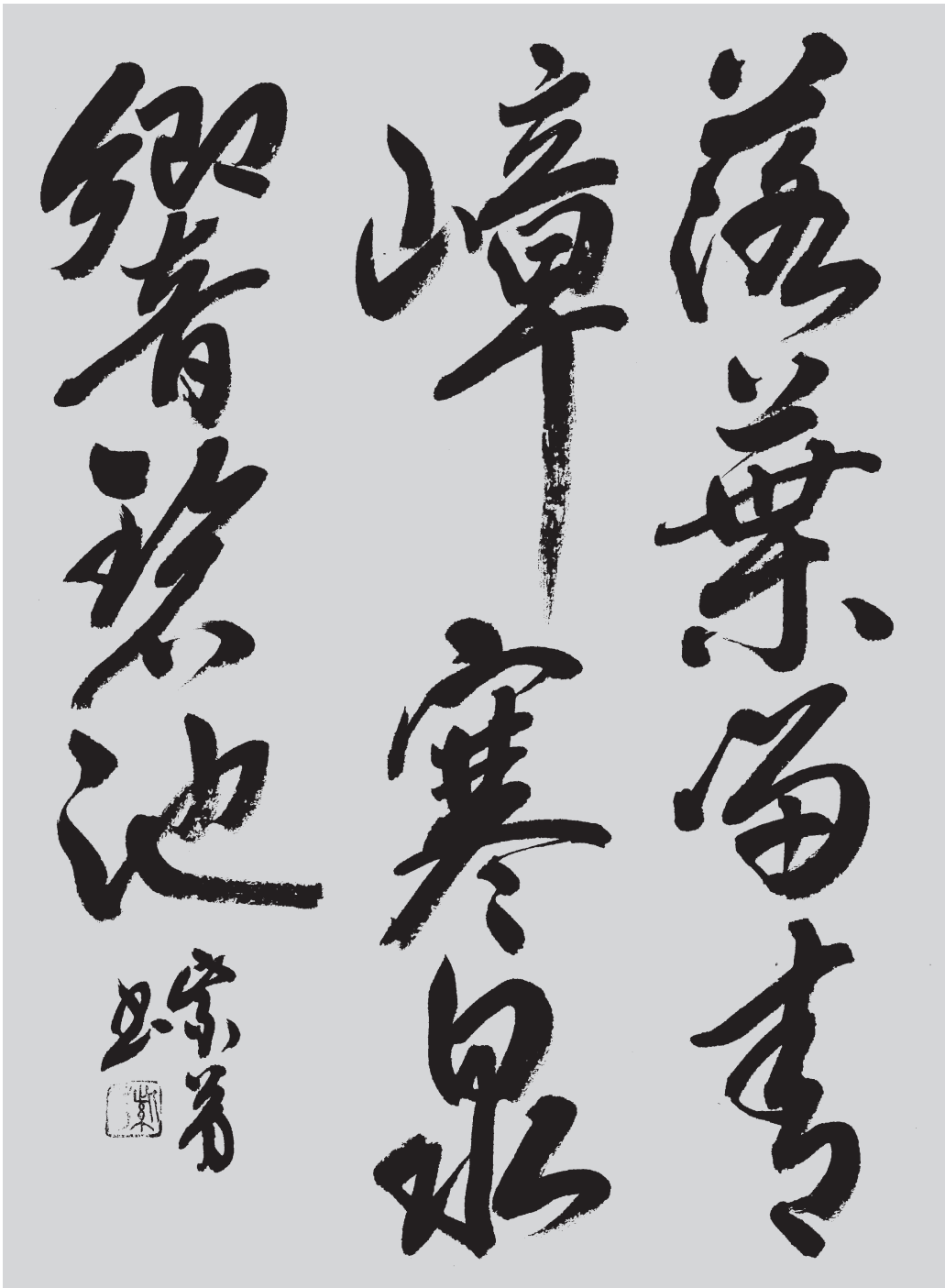


訳：日が暮れるにつれて、風もしだいに強まってきた。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

高橋紫芳先生書

落葉留青嶂。寒泉響碧池。(曹仁虎)
落葉青嶂を留め、寒泉碧池に響く。



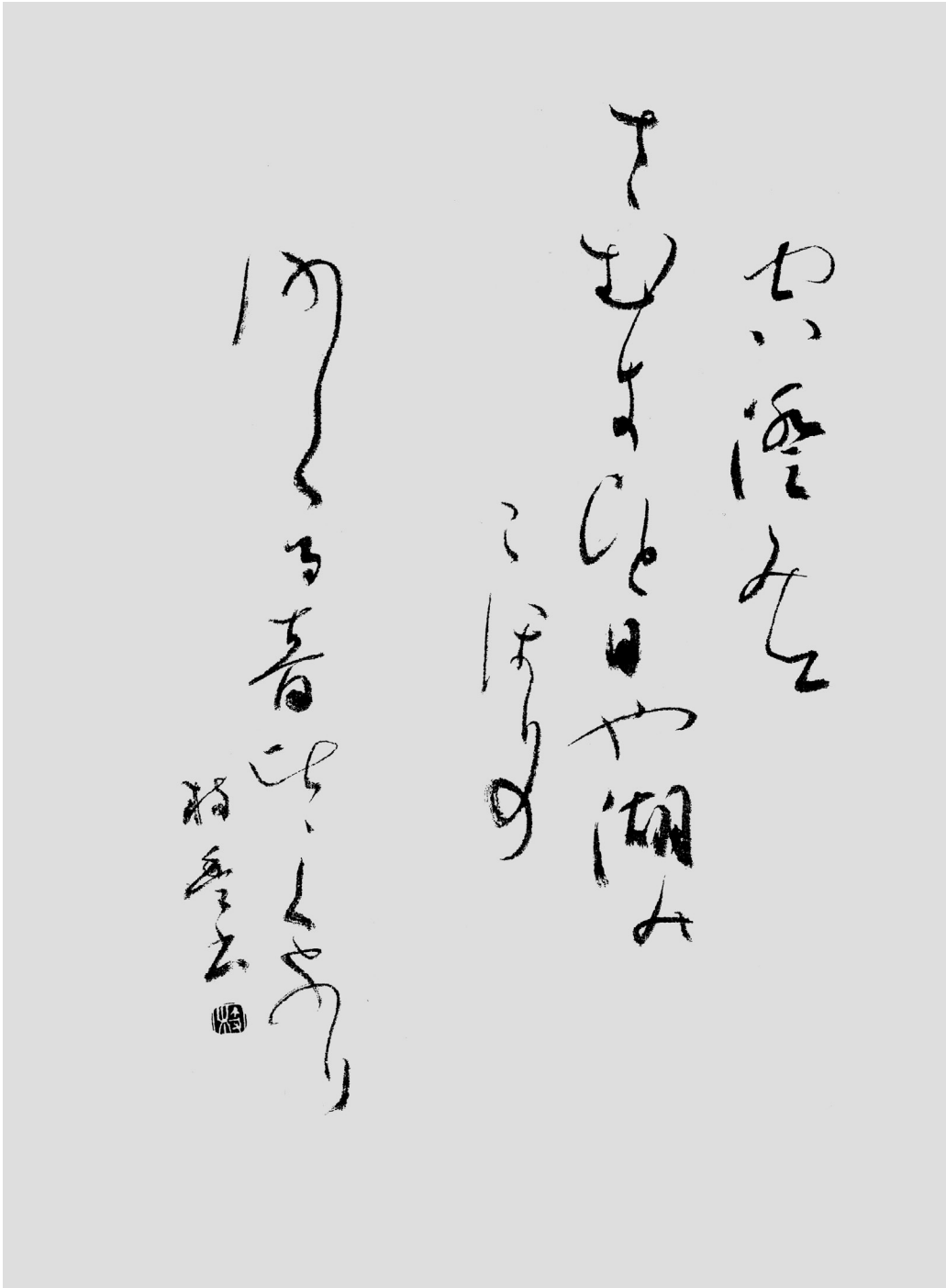
訳：木々の葉は落ちたが青山は依然としてそびえ、冬の泉はあおい池に流れ込んでいる。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

鈴木枝豊先生書

空澄みて寒きひと日やみづうみの氷の裂くる音ひびくなり（島木赤彦）
空澄みてさむ支ひと日や湖能こほりの沙くる音比々久奈り



1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は430円

硬筆部課題参考

(一月二十二日締切)

湯澤春翠先生書

川上香蓉先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

山あれば山を観る雨の日は雨を聴く
春夏秋冬 あしたもよろし
ゆうべもよろし

いのち短し恋せよ乙女
紅き唇褪せぬ間に
熱き血潮の冷えぬ間に
明日の月日はなぬものを

課題1 (初段階以上)

いのち短し恋せよ乙女
紅き唇褪せぬ間に
熱き血潮の冷えぬ間に

明日の月日はなぬものを

ゴンドラの唄

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題2 (初段階以下)

山あれば山を観る
雨の日は雨を聴く
春夏秋冬
あしたもよろし
ゆうべもよろし

種田山頭火